



調布稲門会
 事務局 下石原3-62-1
 堀紙管(株)内
 Tel 0424-87-1151
 Fax 0424-87-1154
 幹事長 堀 龍之介

第二十三回定例総会開催

―新会員一挙に31名が入会―

昨年5月15日、「たづくり」にて参加者88名で開催された。先ず、元木副会長の司会により、昨年亡くなられた故市村文寛氏の冥福を祈って黙禱。続いて笠原会長の挨拶の後、議事(会務報告、会計・監査報告、活動計画、収支予算)に入り、原案通り承認された。

「委員増強運動」に対し会員の皆様が積極的に協力していただいた成果により、新入会員が一年余で31名(準会員5名含む)増加し、会去員数が念願の二〇〇名台に乗ったこと。第一点は、長年課題であった「会活動の予算化」が実現したことである。

議事が終わり、小山慶太早大理事より母校の現況と構想、スポーツ振興と文武両道についてお話があった。加地昌博調布三田会会長の祝辞の後、125周年記念募金の寄付金が笠原会長から小山理事を通じて贈呈された。



校歌斉唱

コミの役割」と題し、時事通信社相談役村上政敏氏(昭32教育)が最近の政治・経済動向・世相の変化とマスコミの役割について有意義なお話をされた。

休憩の後、天野会員の司会で懇親会に入った。早大総長室調査役斎藤鉄生氏の挨拶で記念事業募金の現況報告と更なる協力の要請があった。前三多摩支部長福永寿巳夫氏(府中)の発声で乾杯し開宴。和やかな歓談の中、新入会員12名の紹介、8部門の同好会活動報告



会長 笠原 昌夫
 昭25・理工

新年を迎えて

謹んで新年のお祝辞を申し上げます。第二十二回定例総会で定められた会運営の円滑化を図る役員新体制の活動が漸く定着し、八つの同好会の活動も益々活発になり、スポーツや趣味を通して先輩後輩が触れ合い親睦を深める機会が増えて喜ばしい事です。

2005年度 主な行事予定

- ・第24回定例総会
5月21日(土) 16時
会場 たづくり12階
- ・社会福祉バザー
12月4日(日)
会場 市役所前広場
- ・新年会
2006年2月予定
会場 未定

去年も十二月五日(日)恒例の調布市福祉バザーに参加しました。会場が市役所前庭に変更され、低気圧の余波で風が強く、テント無しでの悪条件下でしたが、幹事各位のご協力により所定の成果をおさめる事が出来ました。

母校も白井総長の体制以来三年目を迎え、第二世紀宣言を打出し、建学理念である三大教旨を現代的に読み代えて、独創的な先端研究への挑戦・金字の生涯学習機関化・地球市民の育成を三本柱でワールドクラスの大学への飛躍を目指して改革が進められています。

スポーツについて、野球は惜しい所で優勝を逃しました。箱根駅伝もシード権に惜しくも届きませんでした。ラグビーは対抗戦で四連覇を達成し、正月の大学選手権で二年ぶりの優勝を果しました。

最後は母校創立百二十五周年募金活動も折り返し点を過ぎました。調布稲門会の成績は三多摩支部で下位に低迷しております。母校の更なる発展を願い、一人一人の協力をお願いいたします。



我らが美人販売員です

前夜は台風並みの強風が吹き荒れ、折角、設営されたテントが目茶苦茶に壊れていた有様で、当日の天気予報は午前中「雨」でした。

河野副会長をリーダーに、すべて作業を終えたのが夕刻でした。12月5日、調布市協賛福祉祭のバザー当日、市役所前広場に有志の品物運び、販売準備が完了したのが十時近くでした。実行委員の紹介、委員長、市長の挨拶の後、開会の宣言となりました。

昨年12月3日、一点一点々値段を付けるために、精鋭8名が飛田給の倉庫に集合し、本格的な福祉バザーの準備が始まりました。事前に各幹事に物品の収集を依頼、多くの方々から山の様にご提供頂きました。

福祉祭バザー

村上 勉
 昭42・教育

私たちの同好会活動

—参加がますます楽しくみです—

太極拳

中野 完二

昭和35・文

太極拳同好会は満二〇年を迎え、昨年9月14日、師家・楊名時先生、楊慧先生、笠原昌夫調布稲門会会長らご来賓をお招きして記念大会・祝賀会を開催することができました。沢山の方々のご支援ご協力のお陰と感謝しております。

本年度も、これまでの歴史のうえに、新しい歴史を刻むように、毎週稽古に動しんでいきたいと、会員一同誓いあっております。会員数は常時四〇名を超す大人数になっておりますが、調布稲門会会員の方のご参加は現在数名と少々淋しくなっています。

原則としてお休み)、午前10時〜11時30分、調布市深大寺北町二丁目の調布市総合体育館小体育室を会場に、中野完二(楊名時太極拳師範、日本健康太極拳協会副理事長)が指導して、稲門会員とご家族、地元調布市や三鷹市の方々と「健康・友好・平和」を目ざして、和氣あいあいと、八つの医療体操、八段錦と楊名時太極拳を稽古しています。

呼吸を中心にした、ゆっくりとした、無理のない動きですから、どなたにでもできます。一度見学にいらっしやうと、一緒に体を動かしてみてください。夫婦、親子でやる方も多いです。

囲碁・将棋 早川 政夫 昭30・商

囲碁・将棋

早川 政夫

昭30・商

当同好会は昭和56年10月に調布稲門会が設立された翌年に発足して現在に至りました。当会を更に発展させて次代に託す為にはより魅力のある活発な活動を行って会員数を増やす努力が必要ですが、逆に同好の士が増えればそれによって活動が期待できる訳です。

その為には稲門会々員の勧誘は勿論進めますが、稲門会々員以外の第三者の入会を進めて行きたい

と思います。(稲門会々員の家族、親戚は勿論知己友人等の紹介) 当面の目標としては「オール早稲田囲碁祭(首都圏)」(校友、教職員、現役等と一緒にを行う対戦で、平成13年から毎年開催)に出場して第1回目に続いてクラス別(団体)に優勝を果すこと及び平成17年度から発足予定の「オール早稲田将棋祭」に出場したいと思っておりますが、囲碁に比して将棋会員は人数が少なく出場が危ぶまれており、将棋会員増加に苦慮しております。



9/26 第4回オール早稲田囲碁祭(市谷本院)

囲碁、将棋会員増加策について皆様の良きアドバイス・情報等ありましたらお待ちします。現在の所属メンバーは24名です。

昨年度の活動経過報告は左記、

◆ 囲碁正月大会 1月25日

各組優勝者 A組大谷8段

B組嶋崎6段 C組川島3級

◆ 将棋新春大会 2月22日

優勝者 元木5段

◆ 囲碁夏期大会 7月25日

各組優勝者 A組塩沢6段

B組坂口6段 C組新井3級

◆ 第4回オール早稲田囲碁祭

9月26日、日本棋院市谷本院

(出場選手と編成)

主将塩沢3段、副将大谷3段

3将床波3段、4将椎原1級

5将濁川1級、補欠早川2級

(対戦成績)

同好会世話人のご案内

太極拳	中野 完二	0424-85-0523
囲碁将棋	早川 政夫	0424-87-9610
硬式テニス	村上 勉	0424-41-5151
ゴルフ	香山 弘憲	0424-82-6994
麻雀	関口 三三	0424-86-7045
	濁川 次幸	0424-83-6966
ワンゲル	川島 義凡	0424-85-4178
	天野 子子	0424-80-2503
	村上 勉	0424-41-5151
カラオケ	小笠原 忠八	0424-81-6867
社交ダンス	元 木 勇	03-3300-4554

硬式テニス

村上 勉 昭42・教育

◆ 囲碁「宿泊研修プラン」 12月18〜19日ウエルサンピア多摩 参加者10名

素、先々月3回程程度の開催は実現したいと思っております。

「先ず魁より始めよ」で、新春

1月15日(土)新年会を開催し、「新生硬式テニス同好会」のスタートとしました。

今年の例会は市宮コート(1回200円)にて月1〜2回を予定して

います。現在メンバーは約15名ですが、会員皆様のご支援ご協力を得て増員強化し、益々発展させたいと考えています。

麻雀

濁川 寿次 昭42・理工

麻雀同好会の皆様、お元気で新年を迎え、お慶び申し上げます。

さて今年抱負としまして現在メンバーが34名ですが、例会となりますと4組(16名)が常となっ



4/24 第7回太極拳祭に参加

ております。何とか5組(20名)で開催の夢をもっております。そのためには皆様にぜひ参加して楽しんでいただくことが必要です。

現在例会費用として5千円いただいておりますが、4千円に減額したいと考えております。幸い調布稲門会より同好会への援助金を頂戴しておりますので、何とか運営していただけるものと考えております。将来は3千円でやっていきたいとも考えております。

次に賞品ですが、これも今までと趣向を変えて賞品券等にしてみてはと検討しており、ただ大変不精なもので、この様な準備が出来るかどうか、不安です。

昨年の成績は次の通りです。

- 3月6日 第60回例会・懇にて
- 一位 大谷暢廣
 - 二位 芝崎光男
 - 三位 関 信明
- 7月3日 第61回例会・懇にて
- 一位 芝崎光男
 - 二位 下村邦夫
 - 三位 渡邊 宏

ゴルフ

香山弘之

昭35・政経

今年の抱負は参加者全員が楽しくプレーが出来ることです。春は桜見物を兼ねて、秋は紅葉を愛でながらゴルフライフを満喫したいものです。場所は交通の便が良く近場で、カート付き、しかも割安

な所を選ぶつもりです。賞も出来るだけ多くの方にお渡しできるよう工夫します。初めての方も気軽にご参加ください。

現在の登録メンバーは31名(内、女性1名)で、春・秋のゴルフシーズンに2回ずつ計4回のコンペを開催しています。

- 昨年は次の通り行ないました。
- 4・15(木)川崎国際 本会単独
 - 5・13(木)相模湖調布三田会合同
 - 9・29(水)レイク相模 本会単独
 - 11・11(木)大月 調布三田会合同

いつも15名前後の参加で、主に中央高速で行ける所を選んでいきます。三田会との対抗戦は一勝一敗のイーブンでした。因みに稲門会参加者の平均は98余ストロークで80台から110台までばらついていますが、また年末の市民ゴルフ、場所は貸切りの桜ヶ丘CCCに有志3名で参加し、160名余の市民と共にチャリティに協力しました。



4/15 調布稲門会コンペ(川崎国際)

ワンゲル

川島 義幸

昭34・商

当会は、自然と歴史、文化と健康を基本に企画して、仲間達と楽しく語り合い、親睦を深め、交流の輪を広げ、そして互いに思いやりのある人間関係を大切にしております。設立以来女性メンバーが多く、女性の声を反映した企画で好評を博しています。

今回、「新選組のふるさと日野」を執筆された村上誠二氏は、ご夫妻共々ワンゲル同好会の熱烈なるファンで、誠に心強い限りです。

前回の会報で、「女性パワーは強い」と書きましたが、そのためには、夫である男性会員が、心よく奥様方を入会させることです。ここで、ワセダマンの懐の深さを發揮して頂きたい。それが会全体の活性化と、会員増強に結びつきます。メンバーは現在46名。

新選組のふるさと

日野をたずねて

村上 誠二

昭33・理工

八重桜満開の好天に恵まれた去る四月十七日、「幕末ロマン」ゆかりの地、高幡不動、日野界隈を散策するワンゲルに愚妻ともども参加した。

京王線高幡不動駅に定刻集合、総勢二十八名、浅川「ふれあい」橋を渡り、石田寺へ着く。境内に



土方歳三資料館前にて

は新選組副長土方歳三の墓があり、墓の脇には樹齢六百年の「カヤの木」がある。

次に土方歳三資料館迄徒歩で十分、資料館には歳三の愛刀、歳三着装の鎖かたばら、鎖ごて、家伝の石田散葉精製道具等が展示してある。日野市共催の「新選組フェスタ」会場を見学。

市民の森スポーツ公園で昼食。ご婦人達七名は車座になり、談笑の声聞え、殿方は青空の下で自家製の弁当を満足顔で腹に詰めた。昼食後、井上源三郎資料館を廻り、甲州街道沿いの日野本陣へ着く。都内に現存する唯一の本陣であり、日野宿名主佐藤彦五郎の屋敷跡である。

更に八坂神社、宝泉寺にある井上源三郎の墓に詣で、高幡不動へ急ぐ。高幡不動尊には土方歳三の菩提寺高幡山金剛寺がある。大変楽しい有意義な一日であった。最後に、日野稲門会藤村重雄

桜田倶楽部

東京テニスカレッジ

会長 秋山 一 (昭22・政経)

〒182-0017 調布市深大寺元町二丁目三二番一
電話(〇四二四) 82-1320-9

堀紙管株式会社

〒182-0034 東京都調布市下石原三丁目一
電話(〇四二四) 87-1250-0
FAX(〇四二四) 87-1250-4

林建設株式会社

取締役社長 林 和男
取締役副社長 林 清一
〒182-0512 東京都調布市小島町二丁目五六一番一
電話(〇四二四) 86-1121-0
FAX(〇四二四) 86-1121-0

中村不動産管理株式会社

代表取締役 中 村 俊 一
〒182-0035 東京都調布市上石原一丁目一
電話(〇四二四) 82-1103-3

ギフト

京王百貨店調布外商営業所

〒182-0024 東京都調布市布田一丁目四五番一
電話(〇四二四) 81-576-番
FAX(〇四二四) 87-910-番
新車・中古車販売(国産、輸入)
車検、一般整備、板金、塗装

石井自動車株式会社

〒182-0006 東京都調布市西つじヶ丘2丁目15番一
電話 03(33300) 83221
FAX 03(33300) 83223

深大寺そば 創業文久年間

御宴会・俳句会・御法事

元祖嶋田家

〒182-0017 東京都調布市深大寺元町五丁目二十番一
電話(〇四二四) 82-1357-八
83-1665-五

同好会活動スケジュール

太極拳		硬式テニス	
毎日曜 10:00	通常稽古(5週目㊦)	調布市総合体育館	毎月1~2回(詳細未定)
4/下旬	第8回太極拳祭	台東リバーサイドス ポーツセンター	ゴルフ
7/下旬	稽古のあと暑気払い		3/31 調布稲門会コンペ 川崎国際
9/25	東京都支部西地域	国立昭和記念公園	5/12 調布三田会と合同コンペ 武蔵野GC
11/下旬	第6回太極拳の集い		10/上旬 調布稲門会コンペ 津久井湖予定
	お茶の水教室と	神代植物公園	11/上旬 調布三田会と合同コンペ (場所未定)
1/上旬	合同稽古	自由広場	麻雀
	稽古のあと新年会		3/ 5 13:30 第62回例会 憩(調布百店街)
			7/下旬 第63回 " (")
囲碁・将棋		ワンゲル	
3~6月	13:00 囲碁将棋月例会	菊野台福祉センター	4/中旬 第11回散歩 川崎市予定
第4日曜			10/中旬 第12回散歩 浅草・隅田川予定
5/22	9:30 第5回オール早稲田	日本棋院市谷本院	カラオケ
	囲碁祭(首都圏)		5/21 定例総会後カラオケ 祭(西調布)
7/24	10:00 囲碁夏期大会	菊野台福祉センター	18/2月 新年会後カラオケ "(")
8/28	13:00 将棋夏期大会	"	その他 幹事会後カラオケ "(")
"	13:00 囲碁月例会	"	社交ダンス
9~12月	13:00 囲碁将棋月例会	"	3/10 18:30 リハーサル
第4日曜			3/14 18:30, 3/19 13:30 むらさきホール
18/1/22	10:00 囲碁正月大会	"	4/4,4/18 各18:30, 4/23 13:30 "
18/2/26	13:00 囲碁月例会・将棋新春大会	"	5~12月 各3~4回(詳細未定)

氏のご協力で深く感謝申し上げます。
カラオケ
 小笠原 忠八郎
 40・商
 本会は定例総会、新年会および幹事会のそれぞれお開き後、有志

の皆様をカラオケのお店にお誘いし、歌ったり飲んだりして皆で楽しい一時を過ごそうという趣旨で活動しています。今年の総会、新年会の際には、殊に力をこめて皆様をお誘いしますので、是非ご参加ください。
 今は亡き津田先輩から、可成り苦勞はするだろうけど、リーダー

を引き受けてくれと口説かれ、引き受けてはみたものの、本当に大変な現実でした。日頃お付き合いのない諸先輩のお誘いは大変で、なかなか出席していただけなく、35通出して5人ということ等が続いて難儀しましたが、最近はややく20人位で一安心しています。年5~6回予定していますが、ウマイ、ヘタは関係なしで、できるだけ大勢で盛り上がりしたいと思いますので、重ねて、皆様の積極的なご参加をお願い致します。

社交ダンス
 野地 勲
 昭47・産専
 ダンスの魅力に取り付かれて二年余になります。
 社交ダンスはスポーツと芸術とが一体化したもので、年齢や体力に関係なく誰でも楽しめるスポーツです。他のスポーツと比較しても運動量はかなりあるにもかかわらず一番安全なスポーツと考えられます。生涯学習の一つにぜひサークルに参加して多くの人たちとの出会いと付き合いの輪を広げ、リラックスした人付き合いをしていただきたいと思います。

当同好会は、02年に発足してから三年目に入りました。当会の指導は元木勇先生(プロダンス教師協会会員、調布市社交ダンス、スポーツダンス両連盟顧問)、助川純子先生(プロダンス教師協会会

員)、椎原孝子先生(インストラクター)、又さらに04年には佐々木御夫妻(インストラクター)が加わり最高の同好会になっています。現在会員数は男性10名、女性30名ですが、月3~4回のレッスンには男性4~5名、女性10~15名が練習に励んでいます。今年こそダンスパーティーが開けるまでにしたいと思っておりますので、多くの稲門会会員の方に参加していただきたく思います。
 「継続は力なり」

ホームカミングデー
 に参加して
 香山 弘之
 昭35・政経
 秋たけなわの昨年10月24日(日)04年稲門祭・ホームカミングデーが開催された。当日は暖かな陽気にも恵まれ、8千名を超える関係者が早稲田の杜に集結した。

式典は戸山キャンパス記念会堂にて午前10時半より、白井総長の方辞、招待者代表の挨拶、校歌斉唱と進み、その後卒業年度別の会が各教室で行われた。
 午後からは各所に分かれて多彩なイベントが行われた。メインは大隈講堂にてクイズバラエティ「世界の先へ、ワセタYES」、露木アナウンサーの司会で各学部教授により最先端の「学」をショウ形式で展開。音楽祭は10を超える団体が競演、各種説明会、学内見学、各種展示、講演、ミニ講座と盛り沢山、大隈庭園では各地区稲

12/5 レッスン



旭化成集合住宅建設(株) 顧問・一級建築士
笠原昌夫
 調布市東つじヶ丘二丁目三十八番十三
 TEL・FAX 03-3373-7500
 TEL 0424-82-4585
 FAX 0424-82-4585
 http://www.wajisai.com

新しい食文化をつくる
お米館
 YAMADAYA
 代表取締役 秋 沢 淳 雄
 ISO9001取得
 稲山本店
 東京都調布市布田3-1-1
 TEL 0424-82-4585

旭光商事株式会社
 代表取締役社長 富永昌夫 昭30一法卒
 電話(03)3972-7181
 FAX(03)3972-7181
 〒114-0004

思いをカタチにするそれを支える
 プロの技がここにあります
 稲門祭・出張料理・パーティー料理・会席料理
アジサイワールド(株)
 TEL 04120-5555-5885
 FAX 0424(99)7888
 http://www.wajisai.com



大隈庭園での交歓風景

門会による模擬店が並び、全国銘酒試飲会も登場、盛況を極めた。

さて福引抽選会は自動車・海外旅行・パソコン・家電品・ホテル宿泊券等々から各地区稲門会寄贈の地元名産品まで沢山の品物が準備された。福引券は1枚2千円、5枚1セット1万円でもれなくWASEDAマーク入りの時計と交換でき、さらに抽選で車が当たる可能性もあるということです。今回の車の当選者は昨春入学した理工1年生の両親、抽選会場に居られたので壇上呼び出されて大感激でした。

当調布稲門会の成績は、ふるさと賞2本、校友会賞2本が当選し、日本酒1升他を持ち帰りましたが、過去には国内往復航空券(ペア)・ホテル宿泊券(ペア)が当たった実績もあり、かなりの確率で当選する可能性があります。たまには母校に顔を出し、楽しまれてはいかがでしょうか。

ワセダで講演会開催

渡邊 宏

昨秋のオール早稲田文化週間に参加し、11月3日、母校国際会議室に於て「我が社会体験を後輩に残す」を演題に、福富達(昭27・政経)前島廣司(昭33・法)瀬名敏夫(元住友商事(株))の三氏がスピーカー、小生が司会役で開催した。

調布稲門会で「話の合う」人達と語りあって、時々放談の夕べをやってきた。半世紀も種々の職場で生きて来ると、「宝物の大袋人間」が出来上って、感銘多い会話を続けている。

「目から鱗」や「順耳」の思いが多々。もう一度人生をやれるなら、もっと本意にやりたいとの気持が夫々の発言の語尾に色濃く滲み出ている。出来る事なら「後輩にその思い残した辺り」を話そうかと言いつ出したのを本当にやっってしまった。

母校校友会の配慮で「文化週間」の行事に入れて貰ったものの半世紀も時間差のある世代で、どんな体験話の継承になるのかについて心配した。「今時の大学生は、親の話もマトモに聞かない。それを祖父の世代の我々が語りかけてどうなるのか」とても心配しながら、当日になり、壁に面ってヒトリ言を言い合う羽目にもなるかと思っただけ、定刻より随分前からやって

来る学生達も居て、開会からタツプリ二時間、寸分のダレ、タルミなく、実に中味の膨れ上がった良い会になった。望外の喜びだ。

これからのライフサイクルは、更に短くなって行くので、職業の継続にも、生活設計にも、これまでに経験していない苦労があると結んだ話に、夫々が思慮する顔で応えていた。半世紀後の彼等の多幸を祈りながら閉会した。

一粒の麦は地に落ちて、やがて大地に麦畑を拓けてゆく。
一粒の麦に思いを託し得た。

郷土の物語

嶋田 太郎

昭37・法

古城「深大寺城」三度の戦
深大寺南東に小丘がある。住人は城山と云う。小生が砂場として遊んだ所であり、今尚武蔵野の雑木林が色濃く残っている貴重な自然の宝庫である。現在は都立水生植物公園を含め広く観光散策路として活用されている。

この地は昔清和天皇(八六〇年代)の頃武蔵の国司宗郷が住したと云われる旧館の跡地であり、元来この跡地は南東北の三方が狭い谷間の水田で囲まれた小丘で、南に国分寺崖線野川の分水が流れ、西の一方が大地となり北に貫いて二条の濠、内濠三、四段、外濠四、五段によって堀切られた樹形で屈曲の少ない地形をなしている。

そしてこの地には歴史上三度の戦があったと云う。

①一三五二年(正平七年)二月、元々上杉の出城である深大寺城は二百余騎で攻守するも新田北条連合軍によって攻落され消滅する。その後、上杉松山城の出城として城廓を構え、大手門と虎狛神社の大門とを対比して武州深大寺城として再興する。

②一四三八年(永享十年)足利持氏は上杉憲実征伐のため武蔵府中高安寺に出陣し、その家臣下総の千葉胤直は南多摩郡関戸にて持氏の軍と分れて、下総国市川に陣を張り深大寺城を攻略する。(相州兵乱記)

③一四九一年(延徳三年)北条早雲が伊豆を占領し、次第に相模の国を手に入れて南関東に勢力を延ばす。この地は上杉の家宰太田持資(道灌)が江戸城を築城以来、扇谷上杉の勢力下にある。

一五二四年(大永四年)早雲の子北条氏綱は上杉朝興の居城江戸城を攻落、上杉勢を川越の地に追いやる。朝興は川越に退くも江戸を恢復せんと、再々府中或いは多摩川沿岸に兵を出すも敗退。

一五三七年(天文六年)四月、朝興は川越で病死。遺言として「我れ死せば佛事供養は要なし、先ず北条を退治せよ」と嫡子朝定はじめ重臣老臣に云い残す。朝定は十三歳で家督を継ぎ父の弔合戦をすべく拠点として南武蔵の勢力を恢復すべく、まずこの深大寺古

年会費のご案内

年会費(3,000円)未納の方は下記振込又は便宜の方法でお支払をお願いいたします。

- ・みずほ銀行調布支店
- 普通預金口座 997965
- 郵便振替口座
- 00120-8-101851

郭を再興する。

しかし北条は逆押に川越に出兵七月十六日松山城陥落、同時に天文六年七月二十日上杉家臣難波田弾正以下二百騎対北条武将山中主膳が引きいる二千余騎大軍と交戦するも、一夜にて深大寺城は陥落する。そして南武蔵野は殆んど北条氏の勢力下となるのである。

この戦において難波田弾正ら松山に向けて落ち行く姿を、山中主膳は駒をよせ「あしからじよかれとてこそ た、かはめなど 難波田のくずれ行くらん」と俳諧調に問いかけ、難波田も駒を引き返し、「君を置きて あだし心を我もたば 末のまつ 松なみこえなむ」と読みかえし、両軍共勇者忠臣として誉められたという。

以来この周辺部落の村民は戦をさげ一夜敗退後、再び戻り住んだことにより南方を「又住」と云い、深大寺城西方は城主臣下の住じた宿があったことから「宿」と小字で云うに至った。

計報

吉田 博氏 (昭46・商)
和田良信氏 (昭18・商)
ご冥福をお祈り申し上げます